

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより



第226号 2023年3月号

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



桶ヶ谷沼に春がやってきました

3月になり、桶ヶ谷沼に春がやってきました。桜のつぼみは膨らみ、シュンランは開花の準備を進めています。

例年、3月下旬にベッコウトンボの羽化が始まります。去年は3月25日に甑塚のコンテナで羽化第一号がありました。その後、順調に羽化が進み、4月25日に実施したベッコウトンボ調査会では380頭を確認することができました。今年の羽化第一号の日や調査会が楽しみです。写真は、去年の羽化のようすです。



3月25日午前9時頃、ヤゴが水中から出てきて羽化が始まりました。



30分以上かかって、やっとからだ全体が出ました。



腹部がピンと伸びました。日光を浴びてぬれた体を乾かします。



翅を広げて、さらに体を乾かします。体の色が濃くなってきました。



さらに体の色が濃くなってきました。いよいよ飛び立ちます。



羽化して2週間ほど経つと、オスの体の色は黒褐色になります。

3月下旬の羽化は午前9時頃に始まりますが、日が経つにつれて羽化する時間が早くなっていきます。4月中旬以後に羽化の様子をご覧になりたい方は、日の出頃に来ることをおすすめします。水中から出てきて飛び立つまでおよそ2時間です。なお、羽化は5月中旬までです。

がいらいしゅこんちゆうべんきょうかい かいさい 「外来種昆虫勉強会」を開催しました

2月12日(日)に農作物害虫に詳しい池田二三高さんを講師に招き、「外来種昆虫勉強会」を開催しました。午前中は「おけがや自然塾」塾生13人、午後はビジターセンター行事参加者7人が身近にいる外来種の種類や生態、外来種による被害などについて学びました。



講師の池田二三高さん



講話のようす



ミカンの葉が黒くなっているのはカイガラムシが原因



草の葉に穴が開いているのはヤサイゾウムシが原因



葉に穴が開いている白菜を切るとゾウムシがいました



外来種をルーペで観察

外来種昆虫学習会で学んだこと

- ・ 外来種とは、外国から日本に入ってきて、生き残った生物全てを指す。なんとモンシロチョウも外来種。
- ・ 外来種は、飛行機や船で日本に来るだけでなく、台風や低気圧に乗ってやってくることもある。
- ・ 外来種が原因で動植物が病気になり、これまでの生態系が崩れたり、農作物が被害にあったりする。
- ・ 外来種の棲み処は、人間に関係しているところが多く、雑木林などは少ない。

「桶ヶ谷沼ビジターセンター展」開催中！！

3月1日(水)から31日(金)まで「桶ヶ谷沼ビジターセンター展」を開催しています。

以下の展示・企画を行います。是非ご来館ください。

- ・ 桶ヶ谷沼の歴史
- ・ 桶ヶ谷沼に生息する動植物の写真
- ・ トンボクイズ
- ・ 向笠小・田原小3年生による書写(「桶」「谷」「沼」)
- ・ 桶ヶ谷沼に関する書籍

- ・ 『第56回野生生物保護活動発表大会文部科学大臣賞受賞記念講演』

日時：令和5年3月11日(土)10:00~11:30

演題：「希少種ベッコウトンボ生息地の特定を目指して」

発表者：掛川西高校自然科学部

※講演の聴講を希望される方はビジターセンターまでご連絡ください。

なお、発表者の希望により聴講は中学生、高校生のみとさせていただきます。